価値創造ストーリー /// JR九州グループのあゆみ /// 中期経営計画 /// 特集 /// ESG経営の推進 /// 環境 /// 社会 /// ガバナンス /// データセクション ///

日田彦山線BRTひこぼしライン

2023年8月 BRTひこぼしライン開業

平成29年7月九州北部豪雨により不通となっていた日田彦山線の添田~夜明・日田間は、 2023年8月28日に、新たに「日田彦山線BRTひこぼしライン」として開業しました。

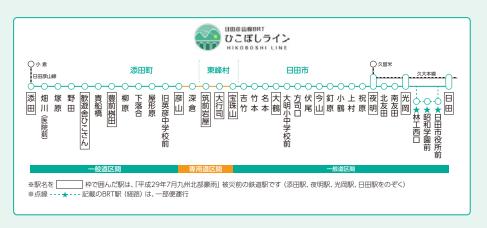
日田"彦"山線の"星"となるように願いを込めて愛称名を「BRTひこぼしライン」と命名し た当社初のBRT (バス高速輸送システム) は、「ひと、地域、みらいにやさしい」をコンセプトに、 お客さまにやさしい身近な交通機関として、利便性の大幅な向上を目指しました。





BRTひこぼしラインの概要

BRTひこぼしラインでは、全長約40kmの運行ルートのうち、彦山〜宝珠山間 (14.1km) は 線路跡地を活用して「BRT専用道」に整備・経由するとともに、添田~彦山間及び宝珠山~日田 間については、お住まいの方の生活圏に近い「一般道」を走行することで、利便性の向上を実現 しています。



みらいにつながるやさしい交通機関を目指して

BRTひこぼしラインでは、環境にやさしいEVバスの導入 や、水素を活用した燃料電池バスの実証運転などを通じ、環 境にやさしい先進技術の、地域交通への導入に取り組んで います。また、車両やBRT駅は当社社員が地域の魅力や風 景をイメージレデザインを実施。車両ごとに異なる様々な色 を纏った車両が、緑豊かな沿線を駆け抜けます。

BRTひこぼしラインは開業以降、大変多くのお客さまにご 利用頂いています。「ひと、地域、みらいにやさしい」BRTとし て、今後も多くの方に親しまれ、輝き続けていけるよう取り 組んでまいります。





ご利用状況

BRTひこぼしラインのご利用者数は2024年5月末現在でおよそ8万人を突破。鉄道時代(平 均通過人員) や、BRT開業直前まで運行していた代行バス時代を上回る、1円平均約300人の お客さまにご利用頂いています。

2024年4月には、輸送力の強化を図るため追加車両を1台導入。今後も利用促進に向けて 沿線自治体の皆さまとともに取り組んでまいります。

● 日常利用に便利なダイヤ、運行ルート

BRTの運行ルートは沿線住民の方へのアンケートや高校生への ヒアリングを行い決定しました。開業にあたり、病院や高校、商業施 設付近に新駅を設置。鉄道時代の3倍の駅数や約1.5倍の運行本 数の設定、時間帯に応じて高校付近を経由する柔軟な運行ルート の設定などにより、ご利用のお客さまからも「通学や通院が便利に なった|「気軽に出かけられるようになった|とご好評頂いています。



2 水素燃料電池バス実証運転

JR九州では、福岡県、Commercial Japan Partnership Technologies 株式会社とともに、BRTひこぼしラインで水素燃料電池バスの実証 運転を実施しています。

将来的な、地域交通への水素モビリティ導入に向けた可能性につ いて、実際にお客さまにご乗車頂き検証を行っています。

